

市民しんぶん山科区版



2024

1月15日号

やましな

今月号の
題字

立花 明子さん(音羽学区)



もてなすくん



※ダウンロードは無料。
通信料は利用者負担。

あけましておめでとうございます

今年は**辰**年！

山科に潜む龍のあれこれ調査しました。

問合せ 区企画担当
(☎592-3066)

毘
沙
門
堂



絵が動いて見える不思議な感覚に国内外の来訪者がびっくり！

直径約5mの大迫力！江戸時代のトリックアートがすごい。

毘沙門堂霊殿の天井の守護龍。狩野家の作とされ、龍の鋭い眼つきや顔つきは、見る角度によって変化し、どこから見ても目が合うことから「八方にらみの龍」と言われています。



豪華な天蓋の上部に天井画を見ることができます。



本殿前の石灯籠の中にも龍を発見

ラピスラズリにより施された青の縁取りは龍を象徴する水を表し、この場所に龍が留まってくれるように囲んでいるそうです。

毘沙門堂の情報は
こちらから▶
※天井図を見るには
拝観料が必要です。



本圀寺 金色に輝く黄金の龍

疏水沿いの小道の先に門を構える本圀寺。石灯籠に巻き付く金色の龍「九頭龍銭洗弁財天」が祀られており、財運・金銭運・福・禄・寿の幸運を授けてくれると言われています。



龍の口から流れ出るお水でお金を洗うと金銭運が上がる！？



回廊の曲がりくねりは、龍の姿を模しています。



金の鳥居の奥、「清正宮」には加藤清正が祀られています。



◀本圀寺の情報は
こちらから
※回廊の拝観は
有料です。

安祥寺 苔で表現される美しい龍の姿

安祥寺の鎮守青龍殿には、かつて蟠龍石柱という龍が施された石柱が祀られていました。修復後の社殿の周りには雌雄の龍を苔で表現した鮮苔蟠龍が施され、神秘的な雰囲気醸し出しています。



「蟠龍石柱」
※現在は京都国立博物館に保存されています。



※特別拝観期間にご覧いただけます。
(拝観料あり)
公開期間等の情報は安祥寺ホームページをご確認ください。



安祥寺の情報は
こちらから

山科植物資料館で
発見！



山科植物
資料館の情報は
こちらから

豆知識 龍にゆかりのある植物

植物には、龍担と呼ばれるリンドウをはじめ、龍にちなんだ名前が付けられていることがあります。山科植物資料館で見せてもらったのは、龍舌蘭と呼ばれるメキシコから来た植物。大きな葉の迫力には龍の舌の名を当てられるのも納得です。

葉をほぐして繊維にしたり、お酒の原料にしたりします。



よく見ると... 剣先を呑もうとする龍が。



青龍殿奥殿に安置されている「青不動明王二童子像」の中には剣に巻き付いた俱利伽羅龍が描かれています。



將軍塚青龍殿の
情報はこちらから
※拝観は有料です。



大舞台からの大パノラマは絶景